

新型コロナウイルス感染症への対応 102-15

私たちの生活は、新型コロナウイルス感染症により一変しました。

花王では、従業員と家族、お取引先・お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの安全と健康の確保を最優先課題とし、感染拡大防止に努めています。清潔・衛生を研究し、関連する製品をお届けしてきた企業として、衛生的な暮らしを守るために必要な衛生関連製品の供給と、生活に役立つ衛生情報の発信に向けて、行政・学会・工業会・関連企業の皆さまとともに、グループ一丸となって取り組み、生活者の皆さまの暮らしを守る、正しい衛生習慣の実現をめざしました。

ESG キーワード

感染症リスクアセスメント

従業員と家族の安全確保

事業活動の継続

事業活動を通じた社会への貢献

社会的課題と花王が提供する価値

認識している社会的課題

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、原材料調達や製造、物流等の停滞、各国・地域で行なわれている出入国制限、外出制限および店舗閉鎖等による消費減退等、世界経済に大きな影響を及ぼしています。

多くの国や地域において第二波、第三波と流行が繰り返されており、ワクチン等の確立による収束と世界経済の回復には年単位の時間を要し、不透明な事業環境が続くことが予想されています。

花王が提供する価値

これまで清潔・衛生を研究し、関連する製品をお届けしてきたスペシャリストとして、生活者の皆さまとともに身の回りの衛生に関してソーシャルイノベーションを起こすことをめざしています。

暮らしのきれいを守ろう！ プロテクトJAPAN

花王は、「暮らしのきれいを守ろう！ プロテクトJAPAN」というスローガンを掲げています。①衛生清潔用品の安定供給、②衛生清潔分野の研究成果を研究機関・医療事業者などのプロフェッショナルへ提供、③生活者へのエビデンスに基づいた衛生清潔に関する正しい情報提供、を行なうことで、暮らしの安心を提供したいと考えています。



→暮らしのきれいを守ろう！ プロテクトJAPAN
www.kao.com/jp/new-hygiene/

→新型コロナウイルス感染症への花王グループの取り組み
www.kao.com/jp/what-we-stand-for/



消毒液の増産体制(日本)

新型コロナウイルス感染拡大による花王への影響とリスク

花王の主要市場である日本において、化粧品市場は、インバウンド需要の大幅な減少や外出自粛等の影響を受け、前年を大きく下回る一方、トイレタリー(化粧品を除くコンシューマープロダクト)市場は、衛生関連製品の需要拡大により伸長しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、生活者の衛生に対する意識の変化や、外出自粛やマスク着用の常態化に伴うメイク等に対する価値観の変化、また、eコマース利用の急増等の消費行動の変化をもたらしています。

新型コロナウイルス感染症の拡大と生活者の変化に伴うリスクは次のようなものがあり、適切な対応ができない場合、目標とする売上高、利益から大きな乖離が生じる可能性があります。

- ・当社グループ拠点やサプライチェーン上での集団感染(クラスター)発生による、操業の一時中断、製品・サービス提供への支障
- ・感染再拡大や長期化による、リモートワークができない業務が原因となる商品開発や発売計画の遅れ
- ・感染再拡大や長期化による化粧品事業等の回復の遅れ
- ・生活者の意識や価値観の変化、消費行動の変化への対応が不十分

方針

新型コロナウイルス感染症への対応として、2020年2月3日に緊急事態対策本部(本部長:代表取締役 社長 執行役員)を設置し、対策本部会議において、①従業員と家族の安全確保、②事業活動の継続、③社会への貢献に関する全社方針を決定し、それぞれ次のような対応を実施しました。また、これらの対応は取締役会に報告されています。

1. 従業員と家族の安全確保

- ・政府や自治体の方針、国や地域の感染状況に応じた勤務体制、働き方(リモートワーク・在宅勤務の推進、出張制限、研修・イベント・見学の制限等)を「危機管理措置」として実施
- ・従業員と家族における感染者・濃厚接触者の状況を把握し、対象者のケアとクラスター発生防止対策を実施
- ・「感染症リスクアセスメントプロジェクト」を発足し、職場と家庭における感染防止対策を強化

2. 事業活動の継続

- ・サプライチェーンの維持のため、原材料調達活動に加えて、生産現場では一段高い感染対策を実施し、委託先等にも展開
- ・リモートワークのための情報システムの強化と業務のデジタル化の推進



医療従事者への製品セット無償提供



感染予防に関連する衛生情報を公開(「暮らしに役立つ衛生情報」)

- ・新しい働き方に向けた会社制度の見直し
- ・コロナ禍における事業戦略の策定と実行

3. 社会への貢献

- ・清潔と暮らしの安心を実現する衛生関連製品の継続的供給
- ・ハンドソープ・手指消毒液の増産体制を整備。アルコール消毒液をこれまでの20倍増産し、緊急を要する医療機関や高齢者施設等にアルコール消毒液を優先的に供給
- ・ウェブサイトを通じて、専門家や花王の知見に基づく生活に関わる衛生関連情報を提供。また、衛生関連研究者、医療従事者、教育機関の保健師等の方向けに、論文等の専門的知見に基づく感染防止策を含む幅広い情報を提供
- ・感染抑制能を持つVHH抗体の取得等、新型コロナウイルス感染症の治療薬や診断薬の開発への貢献



→花王が参画した新型コロナウイルスに関する共同研究の成果について
www.kao.com/jp/corporate/news/rd/2020/20200507-001/

体制

花王では、危機が発生した場合、グループ全体に及ぼす影響の重大さから、危機対策チームの責任者が緊急

事態レベルを評価し(事故・災害、感染症などの事象発生時にはレベル1~3で評価)、レベルに応じた対策組織を設置し対応します。

2020年の新型コロナウイルス感染症の拡大は「レベル3:全社的な影響、経営に影響がある事態」と評価され、緊急事態対策本部、緊急事態対策本部事務局、感染症対策チームが設置されました。

緊急事態対策本部は代表取締役 社長執行役員が本部長を務め、緊急事態対策本部会議で花王グループ全体の活動方針を決定し、指示しました。情報の収集・共有や具体的な活動の進捗管理は、人材開発部門統括(執行役員)が責任者となる感染症対策チームが担いました。活動の取りまとめは、経営サポート部門統括(常務執行役員)が事務局長となり、危機管理部長などがメンバーとなる緊急事態対策本部事務局が担いました。



→リスクと危機の管理>体制
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/sus-db-2021-all.pdf#page=22

事業インパクト

化粧品事業

日本における化粧品市場は、新型コロナウイルス感染症拡大によるインバウンド需要の消滅、外出機会の減少、マスク着用常態化により、対前年度▲28%、特に

メイクアップ市場は、▲25%と大きく影響を受けました。

花王の化粧品事業は、メイクアップ製品の売り上げ構成が市場平均に対して約10%高いため、より大きい影響を受けました。

スキンケア・ヘアケア事業/ファブリック&ホームケア事業

日本における新型コロナウイルス感染症の拡大により衛生関連製品の需要が大幅に拡大する中、ハンドソープ・手指消毒液の増産体制を整え、売上・シェアは大幅に伸長しました(ハンドソープの売上は前年の3倍)。そのため、スキンケアの売り上げは対前年+10%となりました。

教育と浸透

新型コロナウイルス感染症の世界的流行に対して、社内ポータルサイト等を通じて、政府や自治体の方針、国や地域の感染状況に応じた勤務体制や働き方を「危機管理措置」として発信し、全社員が実践しました。

また、職場や家庭内での感染対策の強化ポイントや、従業員・家族が感染者・濃厚接触者になった時の対応、在宅勤務における制度や注意点等、1年を通して新型コロナウイルス感染症対策に関わるさまざまな情報を発信しました。